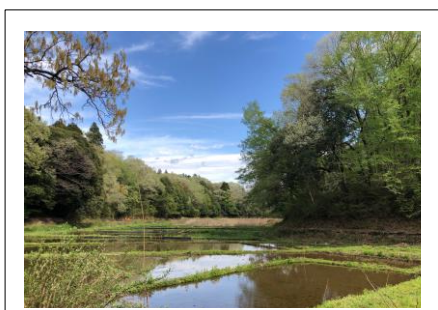


堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里は、木々の芽吹きが美しい季節を迎えました。来月には、カエルの声が響く中で、田植えが始まります。今年は、コンバインによる稲刈りをお願いする時期を考慮し、1か月程度遅い田植えとなりますが、冬期湛水を維持しながら種籾の脱芒・塩水選、チェーン除草など田植えの準備を進めています。山林では、カシノナガキクイムシ（カシナガ）対策に加え、散策路整備を進めています。対策の一環で撮影したカシナガの写真が千葉県生物多様性センター主催のコンテストで大島賞を受賞しました。今回、その報告も掲載しました。

今年の「親子で米づくりと自然の体験」には、13家族の参加があり、さらに千葉市科学館主催の「ちばフィールド探求クラブ 2022」が開催されることもあって、堂谷津の里は多くの子どもたちで賑わうこととなります。会員の皆さんの一層のご協力をお願いします。

【田んぼでは】

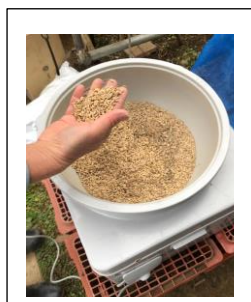


新緑の季節を迎える田んぼです。（左）



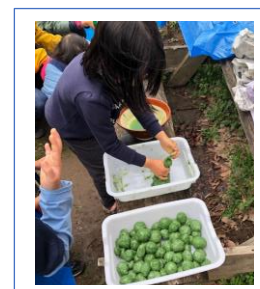
チェーン除草機で田の表面の土を掻き混ぜ、雑草を抑制しています。（右）

種籾の先端の芒を脱芒機で取り除き（左下）、種籾を比重 1.05 前後の塩水にいれ、浮き上がった籾を取り除き種まき用種籾を選別しました。（右下）



今後は乾燥させ、温湯消毒後、浸漬し、種まき前日に催芽を行います。

【ヨモギ餅づくり】



3月末、8家族が参加してヨモギ餅づくりを行いました。ヨモギを摘み（左）、茹でたヨモギをすりつぶし（中央）、餅に混ぜ込んで、小さく丸めてお団子にしました。（右）

「2021年度 生命(いのち)のにぎわい調査団 写真コンテスト」

「大島賞」受賞報告

このコンテストは千葉県生物多様性センターが主催するもので、生物多様性を語る上で重要な作品が賞に選ばれます。「大島賞」は昨年度創設された賞で、詩人・大島健夫氏が独自の目線で選定します。その第1回目を受賞しました。作品は、ナラ枯れ(註)を引き起こすナラ菌を媒介するカシノナガキクイムシを撮影したもので、大島健夫氏の詩が刻まれています。また、今までは、個人会員の応募でしたが、団体会員として応募したのは、バランス21が初めてのことでした。

ナラ枯れは千葉県では2018年に初めて鴨川で発見され、3年で千葉県に蔓延し、「堂谷津の里」の里山林でも2020年頃からその被害が認められ、最近、ついに76本を数えます。写真は、カシノガの飛来、防除対策として設置したクリアファイルの簡易トラップで捕獲し撮影しました。作品は千葉県の出版やポスター等に使用されることもあるそうです。

なお、写真展が3月8日～5月8日(日) 県立中央博物館で、6月14日～7月3日(日) 県立青葉の森公園・森のギャラリーで開催されます。(S.F.)

(註：ナラ、シイ・カシ類(ブナ科)の樹木の伝染病)



※上段がオス、下段がメス

<情報コーナー>

5月7日(予備日8日)に種まき、5月28日、6月7日に田植えを行います。多くの会員の皆さんの参加をお願いします。詳しくは、ホームページに掲載します。

なお、6月4日(予備日5日)は親子体験と千葉市科学館の田植えが行われますが、会員の皆さんの応援が必要です。ご協力をお願いします。

<大島健夫氏の詩>

どこから来たの?
木のあるところ。

何しに来たの?
木を掘りに。

どうやって暮らすの?
木の中で。

誰と暮らすの?
木の中の菌と。

これからどこへ?
木のあるところ。

どうやって行くの?
空を飛んで。

NPO 法人バランス21

E-mail: yatosatoyama@gmail.com

URL: <https://balance21.jimdo.com/>

連絡先: 千葉市若葉区谷当町70

TEL&FAX: 043-239-0645 (現地)